第27回神奈川大学全国高校生俳句大賞 最優秀賞/選者賞/入選作品リスト (筆ぐるめ32シリーズ)

				(筆ぐるめ32シリー	ーズ			
No 賞名	高校	氏名		一句目		二句目		三句目
1 最優秀賞	磐城高等学校	吉村 優菜	1-①	長閑さや母とおぼろげなる連弾	1-2	ぶらんこのローファー空に触れてきて	1-3	花吹雪寄せ書きをまた抱き締める
2 最優秀賞	川崎高等学校	古川 美凪	2-①	リビングの母の布団が消えた春	2-2	夕立や期限の切れた保険証	2-3	驟雨また店舗テントを打ち鳴らす
3 最優秀賞	慶應義塾湘南藤沢高等部	白濱 遼平	3-①	ジャーミイに金の文字あり秋涼し	3-2	秋の灯や赤きアラブの旗なびく	3-3	礼拝堂掃く女あり秋高し
4 最優秀賞	横浜翠嵐高等学校	新堀 笙子	4-①	夏桑や教師かすかに訛りたる	4-2	鶏頭花この先生に鬱の過去	4-3	卒業の名簿に花の名の多し
5 最優秀賞 6 選者賞(恩田侑布子賞)	名古屋高等学校 今治西高等学校	加納 輝一野村 颯万	5-① 6-①	明日絞めるにはとりへ汲む雪解水 早梅や連綿線の長き脈	5-2	薄氷やにはとり殺すとき無言 墨を磨る音の青さや梅雨来る	5-3 6-3	春夕焼の色なるにはとりの羽根よ 八月や命打ち込む筆の先
7選者賞(神野紗希賞)	水沢高等学校	野村 猟刀 及川 華凛	7-①	平備で理解線の長さ脈 砂の持つ星の記憶や夏近し	7-2	型を居る首の有さや個用来る 地球から溢れた空やラムネ玉	7-3	大月で町打ら込む車の先 彗星を捕まえておく蛍籠
8選者賞(長谷川櫂賞)	飛驒神岡高等学校	井上 歩香	8-(I)	打ち上げ花火曖昧な我散って	8-2	金魚すくい静かにぬれて夢の跡	8-3	りんご飴大人になれない唇に
9 選者賞(復本一郎賞)	海城高等学校	岡村 潤	9-①	大の舌首輪まで垂れ花薊	9-2	ひらがなのきれいな人の良夜かな	9-3	山茶花に鼻すすりあふ時間かな
10 選者賞(若井新一賞)	茨城キリスト教学園高等学校	尾関 クララ	10-①	等式に涙落つるや半夏生	10-2	片蔭や笑ひて夢を棄てるきみ	10-3	睫毛さえ梅雨明け空を待つてゐる
11 入選	旭川東高等学校	髙橋 侑	11-①	氷餅食う妹の背の高く	11-2	志望校変えてゲレンデひとっとび	11-3	晩冬や鏡の奥の僕を視る
12 入選	花巻北高等学校	瀬川 晄之介	12-①	夏風邪や桃の缶詰しか食えぬ	12-2	玉虫や雨止みかけた空の色	12-3	風鈴を聞くたび浮かぶ故郷かな
13 入選	水沢高等学校	及川 華凛	13-①	ただ人でありたい私さくら餅	13-2	死の時はおそらく青し誘蛾灯	13-3	二日月人と生まれしこと罪か
14 入選	水沢高等学校	及川 華凛	14-①	どの色を春と呼ぼうか今朝の庭	14-2	草笛やダム湖の底の祖父の庭	14-3	秋風鈴子規の影ある文机
15 入選	水沢高等学校	引地 佳歩	15-①	ホルン重し夕焼吸って吸って吐く	15-2	娘役の筋張った手や能始	15-3	花筏重力浮力見え隠れ
16 入選	水沢高等学校	引地 佳歩	16-①	囀りの満ちて地軸の不安定	16-2	五月闇蝋人形の鼻の穴	16-3	ただ蒼き我が影のあり大夏野
17 入選	水沢高等学校	引地 佳歩	17-①	栄転の父や鮟鱇鍋啜る	17-2	物置の祖父のギターや春の塵	17-3	枝豆や会津訛りの祖父と父
18 入選	水沢高等学校	及川 真聖	_	蛍光ペンのインク漏れ出す熱帯夜	18-2	サイレンも生活の音鉄風鈴	18-3	冬深レパイプ椅子の軋む音
19 入選	白石高等学校	加藤 菜々実	19-①	思春期の声音夕立ちじれったく	19-2	秋暁や机に伏せた『グッド・バイ』	19-3	マフラーを巻くわがままな自我ひとつ
20 入選	白石高等学校	加藤 菜々実	20-①	桜桃忌好きだよなんて致命傷	20-2	晶子忌や恋の音だけ知っている	20-3	スタンプさえ悩んで悩んで一葉忌
21 入選	致道館高等学校 小形束京符学校	鈴木 歩	21-①	君からの「好きな人誰」言えるかよ	21-2	青春は美男美女らの寡占かな	21-3	死ねればな桜のように愛でられて
22 入選 23 入選	山形東高等学校 磐城高等学校	三浦 温人 吉村 優菜	22-①	山羊がゐて老人が来る暑さかな みんなにも優しいんでしょ春の風	22-②	みんなみのみんなむらさき馬肥ゆる ぎゅっとなる心臓ぜんぶ夏のせい	22-3	考へてゐて鶏頭の増ゆるなり 熱帯夜あいつに彼女できたって
24 入選	下館第一高等学校	古竹 変米 構塚 ひばり	-	駐車場広し日永のアルバイト	24-2	歴史とか比とか愛とかトマトとか	24-(3)	いがぐりを蹴飛ばしていく初デート
25 入選	高崎女子高等学校	黛 知花	_		25-2	空瓶の影の青さや夏暖簾	25-3	学校に私服でひとり熱帯魚
26 入選	星野高等学校	倉持 美香		先輩の口癖うつりたる日永	26-2	長閑さやリップスラーのホルンソロ	26-3	花薊女子対女子之喧嘩哉
27 入選	星野高等学校	齊藤 栞	27-①	桃咲くや太宰の口のきゆつとして	27-2	古本に折り目の多し秋うらら	27-3	戦の司書の手にある「かさじぞう」
28 入選	海城高等学校	浅香 優	28-①	ふゆかもめ潜水艦に止まりけり	28-2	月光や着物に桐の匂ひをり	28-3	ガンダムを一人で真似て芒原
29 入選	国士舘高等学校	宇都宮 灯	29-①	線路沿い咲き誇るのは彼岸花	29-2	夕立を浴びてゆらめく君の髪	29-3	サイダーの泡の隙間に君がいた
30 入選	目黒学院高等学校	中田 悠瑚	30-①	夏が来て猛暑の部活地獄かな	30-2	赤点が奪っていった僕の夏	30-3	高校の体育祭は出会いの場
31 入選	神奈川大学附属高等学校	山下 咲子	31-①	荒川や祖母の日傘の影長し	31-2	黒雲を並べてわらふ南風	31-3	春浅し歪んだ針の羅針盤
32 入選	慶應義塾湘南藤沢高等部	白濱 遼平	32-①	番ふれば矢尻離れぬ蜻蛉かな	32-2	台風に消えた最後の試合かな	32-3	金網にしまひし弓や夏了る
33 入選	慶應義塾湘南藤沢高等部	白濱 遼平	33-①	仏像は捨て置かれたり彼岸花	33-2	ひび割れのケータイで撮る彼岸花	33-3	どぶ川に揺れて真白き曼殊沙華
34 入選	慶應義塾湘南藤沢高等部	白濱 遼平	34-①	風邪の父コーヒーゼリー呉れと云ふ	34-2	刈草は父の周りを飛び散りぬ	34-3	客席に父の姿や夏了る
35 入選	自修館中等教育学校	伊藤 淳子	35-①	髪結ぶプール上がりの君に恋	35-2	摘みたてのバジル洗えば夏香る	35-3	ふいに鉢覗き込んでは散るめだか
36 入選	洗足学園高等学校	梅津 結衣	36-①	春の朝吊り広告を真面目に読む	36-2	人混みに孤独の多し風車	36-3	人形のうでのほつれよ朧月
37 入選	洗足学園高等学校	森 有沙	37-①	花過のパスタ東ねるうすき紙	37-2	ハンカチを脇に挟んで水を買ふ	37-3	新品の袖の硬さや小鳥くる
38 入選	洗足学園高等学校	長谷川 実奈	38-①	夜明けさうメロン味ないとか言つて	38-2	マーマレードジャム毎日を囲む窓	38-3	初雪や画廊の昼に声のある
39 入選	横浜翠嵐高等学校	新堀 笙子	39-①	最後まで旅のハンカチ迷ひをり	39-2	ちぎり絵の隙間はひかり翡翠鳴く	39-3	暑苦しく抱けよ喧嘩の後なれば
40 入選	横浜翠嵐高等学校	新堀 笙子	40-①	ハンカチに卵のごとく石包む	40-2	自転車は翼メロンを食ってより	40-3	20時には着くよ手花火買ってくよ
41 入選	横浜翠嵐高等学校	清水 風希	_		41-2	網棚の旅行かばんの中は春	41-3	ローファーで行く田舎道四月来る
42 入選	横浜翠嵐高等学校	友安 睦	42-①	鶏頭を絵筆に空を塗る夕べ 秋麗に池の美は退廃にあり	42-2	馬肥ゆる走れば湯気の立つごとく 冷えながらラムネを通る日差しかな	42-3	風冴えて皮剥きたての唇や
43 入選 44 入選	横浜翠嵐高等学校 横浜翠嵐高等学校	那住 悠太	43-①	秋麗に他の美は返廃にあり 馬肥ゆや遺品となりし金時計	43-2	存えなからプムイを連る日左しかな 葬式のその日に湧きし雲の峰	43-3	目に見ゆる山の香として夏の雲 秋惜しむ汽笛もなしに汽車の行く
45 入選	屋代高等学校	菅沼 芽南夢	45-①	上京の姉を見送る山笑ふ	45-2	駅前のビルより多き山笑ふ	45-3	山笑ふえくぼの位置に古墳あり
46 入選	飛驒神岡高等学校	長瀬 桜花	46-①	傷跡に触れるハンカチ夏椿	46-2	園庭の甘み育む母のグミ	46-3	母の胸崩れた牡丹眠り着く
47 入選	桜花学園高等学校	長谷川 文音	47-①	先発がバテてるらしいかき氷	47-2	情けない産毛ほつべに晩夏光	47-(3)	ざつくりと返事をしたるカンナかな
48 入選	岡崎東高等学校	黒沢 悠翔	48-①	電車より手垢だらけの窓夕焼	48-2	三尺寝首の置き場を確かむる	48-3	天の川後期高齢者のばあば
49 入選	時習館高等学校	荒川 天花	49-①	献血のポスター貼りて春夕焼け	49-2	菊日和がん患者への帽子縫ふ	49-3	山茶花や人肌ほどのレモンティー
50 入選	時習館高等学校	荒川 天花	50-①	虫かごにかつて鈴虫だったもの	50-2	温うどんの一味の残る夜寒かな	50-3	すり減った点字ブロック桐一葉
51 入選	名古屋高等学校	加納 輝一	51-①	靴の中の指がリズムを刻み春	51-2	梅雨晴や海に果てたる滑走路	51-3	日時計の先まで蟻の道続く
52 入選	名古屋高等学校	加納 輝一	52-①	親子丼にひかりありけり雛祭	52-2	うららかや口内炎を見せる姉	52-3	惜春や祖父の寝言に吾の名前
53 入選	名古屋高等学校	加納 輝一	53-①	夏に入る野菜ジュースの満ち満ちて	53-2	運転の荒きバスなり帰省せる	53-3	かなかなや砂場に貝の混じりゐる
54 入選	名古屋高等学校	加納 輝一	_	ラジコンに配線見えてゐる暑さ	54-2	大蛾来てゐてきつと幸ある家と思ふ	54-3	鶏頭や豚小屋のある通学路
55 入選	名古屋高等学校	福田 匠翔	_	いなづまや檻の中なる猿の家	55-2	ちりとりの横にはうきや鶏頭花	55-3	訪ぬれば女人出てくる冬館
56 入選	名古屋高等学校	福田 匠翔	_	探梅の愛強すぎるをみなかな	56-2	他人の髪に触れたし初雪降つてきて	56-3	湯冷めして左右非対称の私
57 入選	洛南高等学校	塩島 彰浩			57-2	紅葉かつ散りて一歩の重き靴	57-3	レモン一枚透けてNewton十月号
				金魚鉢いぢめの話こはごはと	58-2	スプーンに逆さまのぼく雲の峰	58-3	休暇明ぼろぼろの靴履いてゆく
58 入選	洛南高等学校	清水 航	58-①		+ -			Arte late are as 11, and 3 are a series of 1
59 入選	洛南高等学校	清水 航	59-①	指を蝌蚪なまあたたかくすり抜けぬ	59-2	影よりも薄く打水乾きたる	59-3	籐椅子の片耳を日の過りゆく
59 入選 60 入選	洛南高等学校 洛南高等学校	清水 航 清水 航	59-① 60-①	指を蝌蚪なまあたたかくすり抜けぬ すかんぼや象の足裏やはらかし	59-2 60-2	影よりも薄く打水乾きたる ヤマバクの唇白し朧月	60-3	夕立や片目瞑れるカメレオン
59 入選 60 入選 61 入選	洛南高等学校 洛南高等学校 洛南高等学校	清水 航 清水 航 田村 典	59-① 60-① 61-①	指を蝌蚪なまあたたかくすり抜けぬ すかんぼや象の足裏やはらかし 朝も見た犬の名前はたぶん夏	59-2 60-2 61-2	影よりも薄く打水乾きたる ヤマバクの唇白し朧月 麦わら帽子のほつれとか光とか	60-3	タ立や片目瞑れるカメレオン 父の日のバゲットが剣めいてくる
59 入選 60 入選 61 入選 62 入選	洛南高等学校 洛南高等学校 洛南高等学校 洛南高等学校	清水 航 清水 航 田村 典 田村 典	59-① 60-① 61-① 62-①	指を蝌蚪なまあたたが、すり抜けぬ すかんぼや象の足裏やはらかし 朝も見た犬の名前はたぶん夏 風は樹の匂ひを覚え蜻蛉に眼	59-② 60-② 61-② 62-②	影よりも薄く打水乾きたる ヤマバクの唇白し朧月 麦わら帽子のほつれとか光とか 地図はみな空を教へず桐の花	60-3 61-3 62-3	タ立や片目瞑れるカメレオン 父の日のバゲットが剣めいてくる 月へ列車は泉を音もなくのぼる
59 入選 60 入選 61 入選 62 入選 63 入選	洛南高等学校 洛南高等学校 洛南高等学校 洛南高等学校 洛南高等学校	清水 航 清水 航 田村 典 田村 典 澤西 敦大	59-① 60-① 61-① 62-① 63-①	指を蝌蚪なまめたたかぐすり抜けぬ すかんぼや象の足襲やはらかし 朝も見た大の名前はたぶん夏 風は樹の匂ひを覚え蜻蛉に眼 八月の床に消しかすひとつまみ	59-② 60-② 61-② 62-② 63-②	影よりも薄く打水乾きたる ヤマバクの唇白し朧月 麦わら帽子のほつれとか光とか 地図はみな空を教へず桐の花 青梅のヘタ取る母の手の血管	60-3 61-3 62-3 63-3	タ立や片目瞑れるカルレオン 父の日のバゲットが剣めいてくる 月へ列車は泉を音もなくのぼる 首紋める第一ボタン休暇明
59 入選 60 入選 61 入選 62 入選 63 入選 64 入選	洛南高等学校 洛南高等学校 洛南高等学校 洛南高等学校 洛南高等学校 繼高等学校	清水 航 清水 航 田村 典 田村 典 澤西 敦大 岡本 龍太郎	59-① 60-① 61-① 62-① 63-① 64-①	指を蝌蚪なまあたたが、すり抜けぬ すかんぼや象の足裏やはらかし 朝も見た犬の名前はたぶん夏 風は樹の匂ひを覚え蜻蛉に眼 八月の床に消しかすひとつまみ 絵の具チューブよぢれて床にある西日	59-② 60-② 61-② 62-② 63-② 64-②	影よりも薄く打水乾きたる ヤマバクの唇白し朧月 麦わら帽子のほつれとか光とか 地図はみな空を教へず桐の花 青梅のヘタ取る母の手の血管 door on the right side will open夏逝けり	60-3 61-3 62-3 63-3 64-3	タ立や片目酸れるカメレオン 父の日のバゲットが剣めいてくる 月へ列車は泉を音もなくのぼる 音紋める第一ボタン休暇明 噴水のなにかを持ち上ぐるやうな動き
59 入選 60 入選 61 入選 62 入選 63 入選 64 入選 65 入選	洛南高等学校 洛南高等学校 洛南高等学校 洛南高等学校 雅高等学校 雅高等学校	清水 航 清水 航 田村 典 田村 典 澤西 敷大 岡本 龍太郎	59-① 60-① 61-① 62-① 63-① 64-① 65-①	指を蝌蚪なまあたたが、すり抜けぬ すかんぼや象の足裏やはらかし 朝も見た犬の名前はたぶん夏 風は樹の匂ひを覚え蜻蛉に眼 人月の床に消しかすひとつまみ 絵の具チューブよぢれて床にある西日 ラザニアをぼとぼと食つてゐる日永	59-② 60-② 61-② 62-② 63-② 64-② 65-②	影よりも薄く打水乾きたる ヤマバクの唇白し朧月 麦わら帽子のほつれとか光とか 地図はみな空を数へず桐の花 青梅のヘタ取る母の手の血管 door on the right side will open夏逝けり エンジェルフォール霧となりしか蝌蚪に脚	60-3 61-3 62-3 63-3 64-3 65-3	タ立や片目酸れるカメレオン 父の日のバゲットが朝めいてくる 月へ列車は泉を音もなくのぼる 首紋める第一ボタン休暇明 噴水のなにかを持ち上ぐるやうな動き 野薊や日本に未踏の地のあらむ
59 入選 60 入選 61 入選 62 入選 63 入選 64 入選 65 入選	洛南高等学校 洛南高等学校 洛南高等学校 洛南高等学校 洛南高等学校 體高等学校 體高等学校	清水 航 清水 航 田村 典 田村 數大 岡本 離太郎 田村 謙悟	59-① 60-① 61-① 62-① 63-① 64-① 65-① 66-①	指を蝌蚪なまあたたが、すり抜けぬ すかんぼや象の足裏やはらかし 朝も見た犬の名前はたぶん夏 風は樹の匂ひを覚え蜻蛉に眼 人月の床に消しかすひとつまみ 絵の具チューブよぢれて床にある西日 ラザニアをぼとぼと食つてゐる日永 プリキ缶青く塗られて春の海	59-② 60-② 61-② 62-② 63-② 64-② 65-② 66-②	影よりも薄く打水乾きたる ヤマバクの唇白し朧月 麦わら帽子のほつれとか光とか 地図はみな空を教へず桐の花 青梅のヘタ取る母の手の血管 door on the right side will open夏逝けり エンジェルフォール霧となりしか蝌蚪に脚 緑の中に防空壕があるだらう	60-3 61-3 62-3 63-3 64-3 65-3	タ立や片目頤れるカメレオン 父の日のバゲットが剣めいてくる 月へ列車は泉を音もなくのぼる 首紋める第一ボタン休暇明 噴水のなにかを持ち上ぐるやうな動き 野薊や日本に未踏の地のあらむ 百日紅だれかにあたまなでられたし
59 入選 60 入選 61 入選 62 入選 64 入選 65 入選 66 入選 67 入選	洛南高等学校 洛南高等学校 洛南高等学校 洛南高等学校 港高等学校 體高等学校 體高等学校 體高等学校 體高等学校	清水 航 清水 航 田村 典 田村 典 響西 敦大 岡本 龍太郎 岡本 龍太郎 田村 謙悟 渡邊 広脩	59-① 60-① 61-① 62-① 63-① 64-① 65-① 66-① 67-①	指を蝌蚪なまあたたが、すり抜けぬ すかい。ぼや象の足裏やはらかし 朝も見た大の名前はたぶん夏 風は横の匂ひを覚え蜻蛉に服 人月の床に消しかすひとつまみ 絵の具チュープよちれて床にある酉日 ラザニアをぼとぼと食つてゐる日来 プリキ田青く塗られて春の海 ベルーンの剣で分け入る夏野かな	59-② 60-② 61-② 62-② 63-② 64-② 65-②	影よりも薄く打水乾きたる ヤマバクの唇白し朧月 麦わら帽子のほつれとか光とか 地図はみな空を教へず桐の花 青梅のヘタ取る母の手の血管 door on the right side will open夏逝けり エンジェルフォール霧となりしか蝌蚪に脚 緑の中に防空壕があるだらう 稲妻のあとのましろき猫の腹	60-3 61-3 62-3 63-3 64-3 65-3	タ立や片目頤れるカメレオン 父の日のバゲットが剣めいてくる 月へ列車は泉を音もなくのぼる 首紋める第一ボタン休暇明 噴水のなにかを持ち上ぐるやうな動き 野薊や日本に未踏の地のあらむ 百日紅だれかにあたまなでられたし たましひは荒れ性であり鶏頭花
59 入選 60 入選 61 入選 62 入選 63 入選 64 入選 65 入選	洛南高等学校 洛南高等学校 洛南高等学校 洛南高等学校 洛南高等学校 體高等学校 體高等学校	清水 航 清水 航 田村 典 田村 數大 岡本 離太郎 田村 謙悟	59-① 60-① 61-① 62-① 63-① 64-① 65-① 66-① 67-① 68-①	指を蝌蚪なまあたたが、すり抜けぬ すかんぼや象の足裏やはらかし 朝も見た犬の名前はたぶん夏 風は樹の匂ひを覚え蜻蛉に眼 人月の床に消しかすひとつまみ 絵の具チューブよぢれて床にある西日 ラザニアをぼとぼと食つてゐる日永 プリキ缶青く塗られて春の海	59-② 60-② 61-② 62-② 63-② 64-② 65-② 66-② 67-②	影よりも薄く打水乾きたる ヤマバクの唇白し朧月 麦わら帽子のほつれとか光とか 地図はみな空を教へず桐の花 青梅のヘタ取る母の手の血管 door on the right side will open夏逝けり エンジェルフォール霧となりしか蝌蚪に脚 緑の中に防空壕があるだらう	60-3 61-3 62-3 63-3 64-3 65-3 66-3 67-3	タ立や片目頤れるカメレオン 父の日のバゲットが剣めいてくる 月へ列車は泉を音もなくのぼる 首紋める第一ボタン休暇明 噴水のなにかを持ち上ぐるやうな動き 野薊や日本に未踏の地のあらむ 百日紅だれかにあたまなでられたし
59 入選 60 入選 61 入選 62 入選 63 入選 65 入選 66 入選 67 入選 68 入選	洛南高等学校 洛南高等学校 洛南高等学校 洛南高等学校 穆高等学校 體高等学校 體高等学校 體高等学校 體高等学校	清水 航 清水 航 田村 典 田村 典 陽本 龍太郎 岡本 龍太郎 田村 謙悟 渡邊 広脩	59-① 60-① 61-① 62-① 63-① 64-① 65-① 66-① 67-① 68-① 69-①	指を蝌蚪なまあたたが、すり抜けね すかい。ぼや象の足裏やはらかし 朝も見た大の名前はたぶん夏 風は横の匂ひを覚え蜻蛉に眼 人月の床に消しかすひとつまみ 絵の具チューブよちれて床にある酉日 ラザニアをぼとほど食つてある日米 ブリキ缶青く塗られて春の海 バルーンの剣で分け入る夏野かな 乳房とは青空そのものである。	59-② 60-② 61-② 62-② 63-② 64-② 65-② 66-② 67-② 68-②	影よりも薄く打水乾きたる ヤマバクの唇白し朧月 変わら帽子のほつれとか光とか 地図はみな空を数・寸帽の花 青梅のへ身取る母の手の血管 door on the right side will open夏逝けり エンジェルフォール霧とだりしか蝌蚪に脚 縁の中に防空壕があるだらう 稲菱のあとのましろき猫の腹 木の葉さえ母性縁取る春の吾子	60-3 61-3 62-3 63-3 64-3 65-3 66-3 67-3 68-3	タ立や片目瞑れるカルオン 父の日のバゲットが劇めいてくる 月 - 列車は泉を音もなくのぼる 首紋める第一ボタン休眠明 噴水のなにかを持ちたくるやうな動き 野動や日本に未踏の地のあらむ 百日紅だれかにあたまなでられたし たましひは荒れ性であり鋤頭花 青くひかれ今も続けてどろだんご
55 入選 66 入選 61 入選 62 入選 63 入選 64 入選 66 入選 67 入選 68 入選 69 入選	洛南高等学校 洛南高等学校 洛南高等学校 洛南高等学校 洛南高等学校 穆南高等学校 魏高等学校 魏高等学校 魏高等学校 魏高等学校 魏高等学校 魏河高等学校 爱光高等学校	清水 航 清水 航 田村 典 田村 典 澤西 敵 能太郎 岡本 龍太郎 田村 護邊 広脩 斉田 昴	59-① 60-① 61-① 62-① 63-① 64-① 65-① 66-① 67-① 68-① 70-①	指を蝌蚪なまあたたが、すり抜けぬ すかんぼや象の足裏やはらかし 朝も見た大の名前はたぶん夏 風は横の匂ひを覚え蜻蛉に眼 人月の床に消しかすひとつまみ 絵の具チューブよちれて床にある酉日 ラザニアをぼとほと食つてゐる日永 ブリキ田青で盛むれて春の楠 バルーンの剣で分け入る夏野かな 乳房とは青空そのものである。 くちびるより石膏像の秋めきぬ	59-② 60-② 61-② 62-② 63-② 64-② 65-② 66-② 67-② 68-② 69-②	影よりも薄く打水乾きたる ヤマバクの唇白し朧月 変わら帽子のほつれとか光とか 地図はみな空を敷へず隔の花 青梅の今取る母の手の血管 door on the right side will open夏逝けり エンジェルフォール霧となりしか蝌蚪に脚 縁の中に防空壕があるだらう 稲菱のあとのましろき猫の腹 木の葉さえ母性縁取る春の吾子 油絵の匂ひの残る手や夜長	60-3 61-3 62-3 63-3 64-3 65-3 66-3 67-3 68-3 69-3	タ立や片目腕れるカルオン 父の目のバゲットが劇めいてくる 月 - 列車は泉を音もなくのぼる 首紋める第一ボタン休暇明 噴水のなにかを持ち上ぐるやうな動き 野耐や日本に未踏の地のあらむ 百日紅だれかにあたまなでられたし たましひは荒れ性であり鶏頭花 青くひかれ今も続けてどろだんご 行く秋や鏡台のみの祖母の部屋
59 入選 60 入選 61 入選 62 入選 63 入選 64 入選 66 入選 67 入選 69 入選 69 入選 70 入選	洛南高等学校 洛南高等学校 洛南高等学校 洛南高等学校 洛南高等学校 洛南高等学校 魏高等学校 魏高等学校 魏高等学校 魏高等学校 魏高等学校 魏声高等学校 爱光高等学校 爱光高等学校	清水 航 清水 航 田村 典 用村 典 澤西 敦大 岡本 離太太郎 岡本 離太太郎 西村 謎邊 広衛 芦田 扇 矢 吉田 紗葉	59-① 60-① 61-① 62-① 63-① 64-① 65-① 66-① 67-① 68-① 70-① 71-①	指を蝌蚪なまあたたが、すり抜けぬ すかんぼや象の足裏やはらかし 朝も見た大の名前はたぶん夏 風は横の匂ひを覚え蜻蛉に眼 ハ月の床に消しかすひとつまみ 絵の具チューブよられて床にある西日 プザニアをぼとぼと食つてゐる日永 プリキ笛青ぐ塗られて春の痛 バルーンの刺で分け入る夏野かな 乳房とは青空そのものである。 くちびるより石膏像の秋めきぬ 緑側の昼寝裸足の音は父	59-② 60-② 61-② 62-② 64-② 65-② 66-② 67-② 68-② 69-②	影よりも薄く打水乾きたる ヤマバクの唇白し朧月 麦わら帽子のほつれとか光とか 地図はみな空を教へず桐の花 青梅のヘタ取る母の手の血管 door on the right side will open夏逝けり エンジェルフォール霧となりしか蝌蚪に脚 縁の中に防空壕があるだらう 稲養のあとのましるき猫の腹 木の葉さえ母性縁取る春の吾子 油絵の匂ひの残る手や夜長 居酒屋の壁の女優の褪せて夏	60-3 61-3 62-3 63-3 64-3 65-3 66-3 67-3 68-3 69-3	タ立や片目取れるカルオン 父の目のバゲットが剣めいてくる 月 - 列車は泉を音もなくのぼる 首紋める第一ボタン休暇明 噴水のなにかを持ち上ぐるやうな動き 野薊や日本に未踏の地のあらむ 野薊や日本に未踏の地のあらむ たましひは荒れ性であり鍋頭花 青くひかれ今も続けてどろだんご 行く秋や鏡台のみの祖母の部屋 カーテンの追組さうに揺る暑さ
59 入選 60 入選 61 入選 62 入選 63 入選 64 入選 65 入選 66 入選 67 入選 68 入選 69 入選 70 入選	洛南高等学校 洛南高等学校 洛南高等学校 洛南高等学校 洛南高等学校 港南高等学校 建高等学校 建高等学校 建高等学校 建高等学校 建高等学校 建高等学校 建高等学校 建高等学校 建高等学校 建新戸高等学校 爱光高等学校	清水 航 清水 航 田村 典 澤西 數大 岡本 離 能太郎 岡本 離 維 孫 原田 新 新 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 本 本 能 本 本 能 本 に の の 本 に の の に の の に の の の の の の の の の の の の の	59-① 60-① 61-① 62-① 63-① 64-① 65-① 66-① 67-① 68-① 70-① 71-① 72-①	指を蝌蚪なまあたたが、すり抜けぬ すかんぼや象の足襲やはらかし 朝も見た大の名前はたぶん夏 風は樹の匂ひを覚え蜻蛉に眼 八月の床に消しかすひとつまみ 絵の具チューブよられて床にある西日 ラザニアをぼとぼと食つてゐる日米 ブリキ田青く塗られて春の海 バルーンの朝で分け入る夏野かな 乳房とは青空そのものである。 くちびるより石膏像の秋めきぬ 緑側の昼寝裸足の音は父 学舎の垂幕厚し夕芒	59-2 60-2 61-2 62-2 63-2 64-2 65-2 66-2 67-2 68-2 70-2 71-2	影よりも薄く打水乾きたる ヤマバクの唇白し朧月 麦わら帽子のほつれとか光とか 地図はみな空を教へず桐の花 青梅のヘタ取る母の手の血管 door on the right side will open夏逝けり エンジェルフォール霧となりしか蝌蚪に脚 緑の中に防空壕があるだらう 結金のあとの主しろき猫の腹 木の葉さえ母性縁取る春の吾子 油絵の匂ひの残る手や夜長 尼酒屋の壁の女優の程せて夏 米軍のフェンスの上を赤とんぼ	60-3 61-3 62-3 63-3 64-3 65-3 66-3 67-3 68-3 70-3	タ立や片目瞑れるカルオン 父の日のバゲットが創めいてくる 月へ列車は泉を音もなくのぼる 首紋める第一ボタン休暇明 噴水のなにかを持ち上ぐるやうな動き 野薊や日本に未踏の地のあらむ 百日紅だれかにあたまなでられたし たましかは荒れ性であり鶏頭花 青くひかれぐも続けてどろだんご 行く秋や鏡台のみの祖母の部屋 カーテンの退屈さうに揺る暑さ 天の川より授かりし尿板がな
59 入選 60 入選 61 入選 62 入選 63 入選 64 入選 65 入選 67 入選 68 入選 69 入選 70 入選 71 入選 72 入選	洛南高等学校 洛南高等学校 洛南高等学校 洛南高等学校 洛南高等学校 港南高等学校 繼高等学校 繼高等学校 繼高等学校 繼高等学校 繼高等学校 整高等学校 被加高等学校 数光高等学校 处山東高等学校	清水 航 清水 航 田村 典 田村 典 大 岡本 離 能 医 一 田村 遊 佐 店 田村 遊 佐 店 田村 遊 佐 店 田村 歌 下 年 報 表 郎 田村 歌 下 年 報 表 郎 田村 歌 下 年 報 表 郎 田村 歌 下 年 報 表 郎 日 本 離 能 医 次 作 后 一 年	59-① 60-① 61-① 62-① 63-① 64-① 65-① 66-① 67-① 68-① 70-① 71-① 72-① 73-①	指を蝌蚪なまあたたが、すり抜けぬ すかんぼや象の足襲やはらかし 朝も見た大の名前はたぶん夏 風は樹の匂ひを覚え蜻蛉に眼 八月の床に消しかすひとつまみ 絵の具チューブよぢれて床にある酉日 ラザニアをぼとぼと食つてゐる日永 ブリキ田寺(塗られて春の痛 バルーンの剣で分け入る夏野かな 乳房とは幸空そのものである。 くちびるより石膏像の秋めきぬ 縁側の昼寝裸足の音は父 学舎の垂幕厚し夕芒 冬の道手を繋がれてすぐ温まる	59-② 60-② 61-② 62-② 63-② 64-② 65-② 66-② 67-② 68-② 70-② 71-② 72-②	影よりも薄く打水乾きたる ヤマバクの唇白し朧月 麦わら帽子のほつれとか光とか 地図はみな空を教へず桐の花 青梅のヘタ取る母の手の血管 door on the right side will open夏逝けり エンジェルフォール霧となりしか蝌蚪に脚 緑の中に防空壕があるだらう 精妻のあとのましろき端の腹 木の葉さえ母性像取る春の吾子 油絵の匂ひの残る手や夜長 居酒屋の壁の女優の穏せて夏 米軍のフェンスの上を赤とんぼ その仕草今言った嘘パレてるよ	60-3 61-3 62-3 63-3 64-3 65-3 66-3 67-3 68-3 70-3 71-3 72-3	タ立や片目瞑れるカルオン 父の日のバゲットが剣めいてくる 月へ列車は泉を音もなくのぼる 首紋める第一ボタン休暇明 噴水のなにかを持ち上ぐるやうな動き 野薊や日本に未踏の地のあらむ 百日紅だれかにあたまなでられたし たましいは荒れ性であり鶏頭花 青くひかれぐも続けてどろだんご 行く秋や鏡台のみの祖母の部屋 カーテンの退阻さりに揺る暑さ 天の川より長がりし保柢かな 本を開け新世界への旅をする